

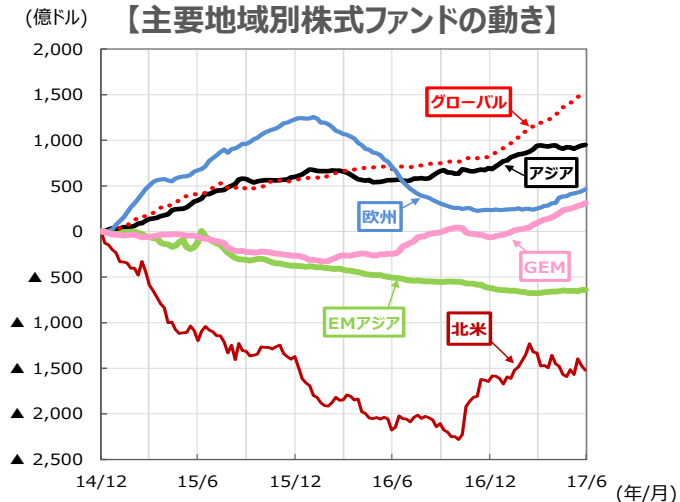
今日のトピック 世界の「投信マネー」

債券は北米中心の流入が継続しよう

株式はグローバル、GEM、欧州へ流入

- EPFRグローバル(注1)で世界の「投信マネー」の17年6月の動向を見ると、株式ファンドは268億ドル(5月225億ドル)、債券ファンドは358億ドル(同280億ドル)とともに前月より流入超額が拡大しました。
- 6月の株式ファンドは先進国全般に投資する「グローバル」が125億ドル、新興国全般に投資する「GEM(注3)」が61億ドル、「欧州」が55億ドルの流入超となりました。日本を含む「アジア(注4)」も29億ドルの流入超となりましたが、「新興国アジア(EMアジア)(注5)」は同10億ドルの流入超にとどまりました。
- 「北米」は3か月連続の流出超となりました。

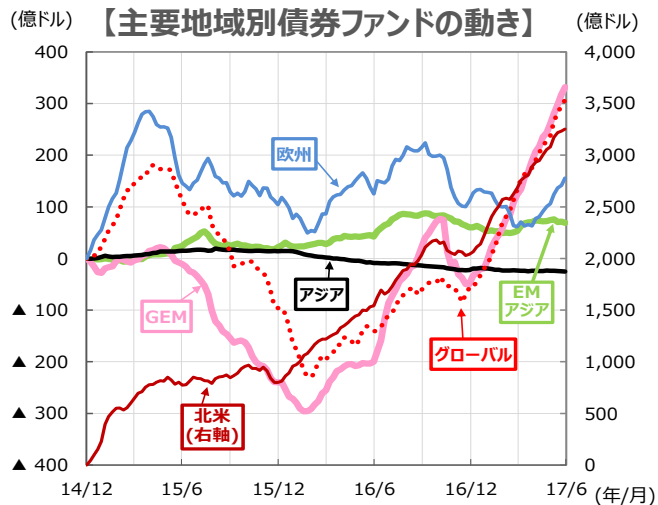
【主要地域別株式ファンドの動き】



債券は北米中心。グローバル、GEM、欧州にも流入

- 債券ファンドは「北米」中心の流入超に変化はありません(6月172億ドル)。先進国全般に投資する「グローバル」が同69億ドル、「欧州」も同49億ドルの流入超となりました。日本を含む「アジア」は同1億ドルの流出超に転じました。
- 新興国は「EMアジア」が同5億ドルの流出超に転じました。ただ、新興国の大勢を占める「GEM」への資金流入は同71億ドルと続いていることから、新興国市場から資金が流出しているわけではありません。

【主要地域別債券ファンドの動き】



米国の国債利回りはゆるやかな上昇へ

- 米国は景気の回復が底堅く、金利の正常化はゆっくりとした速度で進む見込みです。欧州の投資家を中心に米国債券に対する需要が底堅いことから、米国債利回りの上昇は抑えられると考えられます。長期金利の水準が低位であれば、米国社債の相対的に高いクーポン(利息)の魅力は続くと考えられ、米国社債への資金流入も継続しそうです。

(注1) EPFRグローバル：米国に本社を置く金融商品の調査会社。2017年5月末現在29.0兆ドル規模の世界のファンドの資金フローデータを持つ。
 (注2) データは2014年12月～2017年6月。週次ベース。2014年12月からの累計。
 (注3) 「GEM」はGlobal Emerging Markets(世界の新興国市場全体に投資するファンドの総称)。
 (注4) 「アジア」は豪州、ニュージーランド、香港、シンガポール、日本。
 (注5) 「新興国アジア(EMアジア)」は中国、インド、韓国、台湾、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ。
 (出所) EPFRグローバルのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

ここも
チェック!

2017年6月30日 米国債券市場の動向(2017年6月)

2017年6月29日 最近のユーロ圏経済・市場動向(2017年6月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。